

品質(その2)一覧表

ページ	項目	細項目	ページ	項目	細項目	ページ	項目	細項目
別紙-3-26-1 (出来ばえ有)	下水道工事 [管渠補修工事]	【SPR工法】 【3Sセグメント工法】 【ダンビー工法】	別紙-3-26-12	鋼管防蝕工事 [ベトロンライニング工法 ・TP工法]		別紙-3-26-24 (出来ばえ有)	発泡ウレタン工事	
別紙-3-26-2 (出来ばえ有)	下水道工事 [反応タンク覆蓋設置工事]		別紙-3-26-13	旧橋撤去工		別紙-3-26-25 (出来ばえ有)	機械設備工事	
別紙-3-26-3 (出来ばえ有)	下水道工事 [可とうジョイント設置工事]		別紙-3-26-14 (出来ばえ有)	魚礁工 [コンクリート及び鋼製部材]	【共通】【魚礁製作(コンクリート材)】 【漁礁製作(鋼製材)】 【魚礁沈設】	別紙-3-26-26 (出来ばえ有)	維持修繕工事 [側溝修繕] (ネプラス工法)	【ネプラス工法】 【アスファルト舗装】
別紙-3-26-4 (出来ばえ有)	下水道工事 [マンホール更生工事] (MLR工法)		別紙-3-26-15 (出来ばえ有)	砂防工 [鋼製枠 ・スリット堰堤]	【共通】 【鋼製枠堰堤】 【スリット堰堤】	別紙-3-26-27 (出来ばえ有)	電線共同溝工事	
別紙-3-26-5 (出来ばえ有)	下水道工事 [マンホール・管口の 耐震化工法]	【共通】【管口耐震化(マグロック工法)】 【マンホール浮上抑制(セフティパイプ工法)】 【マンホール浮上抑制(ハットリング工法)】	別紙-3-26-16 (出来ばえ有)	ホケット式 落石防護網工事		別紙-3-26-28 (出来ばえ有)	ゴムチップ舗装工事	
別紙-3-26-6 (出来ばえ有)	水管橋工事 [伸縮可とう管工事]	【工場製作関係】 【架設関係】	別紙-3-26-17 (出来ばえ有)	雪崩防止柵工事 [フェンスタブ]				
別紙-3-26-7 (防食は出来ばえ有)	コンクリート構造物工事 [下水道]	【コンクリート構造物】【鉄筋】 【コンクリート防食塗装】	別紙-3-26-18 (出来ばえ有)	スノーシェッド工事 [二次製品]	【製作関係】【架設関係】 【コンクリート構造物】 【鉄筋】			
別紙-3-26-8 (出来ばえ有)	コンクリート構造物 補修工事 [断面修復工事]	【共通】【断面修復】 【表面処理工】	別紙-3-26-19	地盤改良工 [スラリー攪拌工]				
別紙-3-26-9 (出来ばえ有)	コンクリート構造物 補修工事 [炭素繊維補強工法]		別紙-3-26-20	土工事 [改良盛土]	【混合処理工法】 【ESR工法】			
別紙-3-26-10 (出来ばえ有)	コンクリート構造物工事 [エポキシ樹脂鉄筋使用 高流動コンクリート]	【共通】【鉄筋】	別紙-3-26-21 (出来ばえ有)	ダム工事 [重力式コンクリートダム]	【共通】【基礎掘削】 【ダムコンクリート】【基礎処理】 【取水・放流設備】			
別紙-3-26-11 (出来ばえ有) (橋面防水は 出来ばえ無し)	橋梁補修工事	【伸縮装置補修工事】 【落橋防止装置・工場製作】 【落橋防止装置・設置工】 【外ケーブル工法・工場製作】 [外ケーブル工法・架設工]【橋面防水】に分類 【断面修復】は別項目	別紙-3-26-22 (出来ばえ有)	トンネル工 [ナトム工法]				
			別紙-3-26-23 (出来ばえ有)	グラウチング工				

(品質の評定に際し)

評価は、主たる工種で評定します。主たる工種は、概ね60%以上とします。

従って、主たる工種の割合が、概ね40%以上60%未満の場合は、2工種で、概ね40%未満の場合は3工種で評定することができます。

工種は、最大3工種で、2工種の算定は、次のようになります。

(例)2工種の場合、(1工種目のA/B+2工種目のC/D)=(A+C)/(B+D)とし、その結果を評価値とします。

Ver.1

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [管渠補修 工事]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		【評価対象項目】 【SPR工法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に管渠内を調査し、劣化部除去後フェノールフタレイン溶液にて、中性化状況を確認している。 ・ 表面部材(SPRプロファイル)金属部材(スチール補給材)の構造、寸法、物性が材料検査成績書により確認できる。 ・ 充填材(SPRモルタル)の材質、物性、配合等について材料検査成績表により確認できる。 ・ 材料の物質、物性、配合等について材料承認願いを提出し、承認をうけている。 ・ 二次製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受け取り、損傷のないもので施工されている。 ・ 表面部材、金属部材の保管場所が屋内である。やむを得ず屋外の場合は紫外線遮光シートなどで全体を覆って保管している。 ・ スチール補強材の保管は著しい発錆が無いように適切に保管を行っている。 ・ プロファイルドラムの搬送・搬入時にはその重量を把握し、適切な荷積・荷降ろし機械を用い、損傷を与えないように細心の注意が払われている。 ・ 製管距離が長くなる場合、現場においてプロファイル同士を熱圧着(小口径)、又は塩ビ溶接(大口径:人間が入る場合)して接続していることが確認できる。 ・ モルタルは水和性を有するため、保管及び搬送・搬入時には梱包された状態を維持し、水漏れや結露が無いように適切な処置がとられている。 ・ モルタル注入時に比重測定(1.20以上)を行っている。 ・ 初回時の混練りにおいて引き抜きフローを実施している。 ・ 裏込め注入時に採取した供試体により、圧縮強度試験を実施し注入日ごとに強度を確認している。 ・ モルタル使用量は、空袋で使用数量が確認できる。 ・ 再生管と既設マンホールとの取り合い箇所仕上げ部においては、浸入水、仕上げ材の剥離及びひび割れ等の異常の無いことが確認できる。 ・ 再生管の変形・浮上による縦断勾配の不陸等の欠陥や異常箇所が無いことが確認できる。 ・ 再生管径800mm以上の場合、管内の打音検査などで裏込め材の充填状況を確認している。また、再生管径800mm未満の場合には両側マンホール管口付近の打音検査などで裏込め材の充填状況を確認している。 ・ マンホールの仕上げ部においては、浸入水、仕上げ材の剥離及びひび割れ等の異常が無いことが確認できる。 ・ 中心線の通りが良い。 【3Sセグメント工法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面部材(3Sセグメント材)の構造、寸法、物性が材料検査成績書により確認できる。 ・ 3S充填材(モルタル)の材質、物性、配合等について材料検査成績表により確認できる。 ・ 材料の物質、物性、配合等について材料承認願いを提出し、承認をうけている。 ・ 二次製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受け取り、損傷のないもので施工されている。 ・ 表面部材、金属部材の保管場所が屋内である。やむを得ず屋外の場合は紫外線遮光シートなどで全体を覆って保管している。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示をを行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 [管渠補修工事]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え るものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<ul style="list-style-type: none"> ・3Sセグメントの搬送・搬入時には、適切な荷積・荷降ろしにより、損傷を与えないように細心の注意が払われている。 ・ボルト・ナットで3Sセグメント材を連結する際には、あらかじめエアークラッチの締め付けトルクを確認している。 ・3Sセグメントを組み立てる際に、接合部には水密性を確保するためのシール材を塗布している。 ・現場に搬入された3Sセグメントは、傷、亀裂、割れがなく、表面が平滑であることが確認できる。 ・充填材は水和性を有するため、保管及び搬送・搬入時には梱包された状態を維持し、水漏れや結露が無いように適切な処置がとられている。 ・更正工の直前に管渠内の洗浄を充分に行い、土砂、小石、管壁破損等を完全に除去している。 ・洗浄後にTVカメラまたは目視にて、管渠内が充分に洗浄されているかどうかの確認を行っている。 ・充填材の配合はバッチ毎に1回、充填材25kg当たり、5.3ℓを注水している。 ・充填材の混練りにおいて注入日ごとに、引き抜きフロー値測定を実施している。 ・下水共用下の施工は水深25cm以下とし、充填材の注入に支障となるような多量の浸入水がある場合は、仮止水工を実施している。 ・再生管の変形・変位を防止するため、注入の間隔に合わせて支保工を設置している。 ・管渠内から目視により確実に充填されているか確認し、縦断方向及び延長方向へ隔たりが生じないよう、バルブ切り替えや注入速度の調整を行い確実な施工を行っている。 ・充填材の注入量は流量計により連続計測し、実注入量と計画注入量とを比べて大きな差異のないことが確認できる。 ・充填材の注入により過大な側圧等が作用しないように、管径に応じて分割注入している。 ・充填材の注入は、外気温が5℃～35℃以外の場合は適切な処理(混練水の温度調節等)を行っている。 ・注入作業の完了を判断するために、充填材が管口のエアー抜き管から流出することを確認している。 ・充填材の凝結後、注入カバーを外し注入口カバーを取り付けている。 ・充填材は、裏込め注入時に採取した供試体により、圧縮強度試験を実施し注入日ごとに強度を確認している。 ・充填材使用量は、空袋で使用数量の確認できる。 ・再生管の変形・浮上による縦断勾配の不陸等の欠陥や異常箇所が無いことが確認できる。 <p>【ダンビー工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に管渠内を調査し、管渠内に突起物や欠損、浸入水がある場合は、必要に応じて補修している。 ・施工適用範囲外の段差や管ズレがある場合は、モルタル等のすり付けにより施工可能な状態にしている。 ・スパーサー・ストリップ・ジョイナーの構造、寸法、物性が材料検査成績書により確認できる。 ・材料の物質、物性、配合等について材料承認願いを提出し、承認をうけている。 ・二次製品・材料の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受け取り、損傷のないもので施工されている。 ・ストリップの搬送・搬入時には適切な荷積・荷降ろし機械を用い、損傷を与えないように細心の注意が払われている。 ・ダンビー充填材(充填材1)、最終注入用充填剤(充填材2)は水和性を有するため、保管及び搬送・搬入時には梱包された状態を維持し、水漏れや結露がないように適切な処置がとられている。 ・充填材1の段階注入時間の目安として、ストップウォッチによるゲルタイムの確認を実施している。 						

[記入方法] 該当する項目の○に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [管渠補修 工事]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																
II 品 質		<ul style="list-style-type: none"> JAロートによるコンシステンシー試験として、充填材1のフロー値の測定を実施している。 500mLのメスシリンダーを用いて、充填材2の比重(1.8)を測定している。 流量計により、注入ポンプの吐出量を計測している。 注入時に管内及び管口に充填材が漏れ出していないことを確認している 最終段階の注入が完了した後、注入口部の充填を行うため、立ち上げ管を設けて補足注入を行っている。 管内注入口は、パテと専用のキャップを用い閉塞処理していることが確認できる。 両端部の充填材露出防止用コーキング材の充填状況を確認している。 裏込め注入時に採取した供試体により、一軸圧縮強度試験を実施している。 充填材使用量は、空袋で使用数量が確認できる。 再生管と既設マンホールとの取り合い箇所仕上げ部においては、浸入水、仕上げ材の剥離及びひび割れ等の異常の無いことが確認できる。 再生管の変形・浮上による縦断勾配の不陸等の欠陥や異常箇所が無いことが確認できる。 再生管内の打音検査などで裏込め材の充填状況を確認している。 																																						
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。																																						
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																				
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																						

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [反応タケ覆蓋 設置工事]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																														
II 品 質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料(ボルト・塗料等)の品質がミルシート、性能試験等で確認できる。 ・ FRP材料の物性検査(曲げ強度、曲げ弾性率、引張り強さ、圧縮強さ、樹脂含有率)等が実施されており、規格値を満足していることが確認できる。 ・ 積雪深1.00m想定$2.94\text{KN/m}^2(300\text{kg/m}^2)$を満たしていることが確認できる。 ・ 覆蓋の強度試験において、設計荷重を載荷した後中央部のたわみ量が規定以内に入っており、破壊もしくは著しい変形が無い。 ・ 現場での保管が風、ゴミ等に影響を受けないよう適正に管理されている。 ・ 防食塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 ・ 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されており、適正な気象条件下で防食塗装をしている。 ・ 防食塗装が規定の厚さで施工されていることが確認できる。 ・ 防食被覆(塗装)の表面にしわ、むら、はがれ、われのないことが確認できる。 ・ 防食塗装の使用量が納品書及び空缶等により確認できる。 ・ 運搬された覆蓋を注意して取り卸しており、はがれ、われの無いことが確認できる。 ・ 覆蓋の保管にあたり、変形及び塗層面に損傷を与えていないように適切に管理されている。 ・ 取付後、覆蓋にキズ、へこみ、塗層のはがれがないことが確認できる。 ・ 移動用車輪は覆蓋取付け後、スムーズに可動することが確認できる。 ・ アンカーの施工長さが確認され、確実に固定されている。 ・ アンカー金具の引き抜き試験を実施し、適切に管理されている。 ・ フラットタイプ覆蓋の受枠のがたつきが無いことが確認できる。 ・ ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が管理されている。 ・ ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																			
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [可とうジョイント 設置工事]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																			
II 品 質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料の品質がミルシート、性能試験等で確認できる。 ・ ジョイント材料(伸縮ゴム)の物性検査(硬さ、引張強度、伸び率率)等が実施されており、規格値を満足していることが確認できる。 ・ オゾン劣化試験で異常のないことが確認できる。 ・ 運搬されたジョイント(伸縮ゴム)を注意して取り卸し、ヒビ、われの無いことが確認できる。 ・ 下地処理(樹脂モルタル等)が平滑に実施されていることが確認できる。 ・ アンカーの施工長さが確認され、確実に固定されている。 ・ アンカー金具の引き抜き試験を実施し、適切に管理されている。 ・ ボルトの締付(トルク)確認が実施され、適切に記録が管理されている。 ・ ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 ・ ボルトの取付け位置が設計どおりの間隔で設置されている。 ・ 伸縮ゴムとスパンシールを押さえ板・ボルトナットで締付けることにより、水密性を確保していることが確認できる。 ・ 樹脂モルタル等の施工に支障となるような浸入水がある場合は仮止水工を実施している。 ・ 樹脂モルタル等の使用量が納品書及び空袋等により確認できる。 ・ シール材の施工において細やかな配慮がなされている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示をを行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
	50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																						
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																						
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																						
	60%未満	b'	c	c	c																																						

[記入方法] 該当する項目の○に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [マンホール 更生工事] (MLR工法)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																												
II 品 質		[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> ・ MLRモールドの性状、物性が試験成績証明書等で確認でき、規格値を満足している。 ・ 事前にマンホール内を調査し、人孔内に破損、クラック、目地ズレ、腐食、コンクリートの老朽化等がある場合は高圧洗浄を行い、必要に応じて不陸調整、中和剤塗布等の下地処理を行っていることが確認できる。 ・ MLRモールドG(下地側)にMLR注入樹脂を塗布していることが確認できる。 ・ MLR注入樹脂乾燥前に硅砂を均等に散布していることが確認できる。 ・ MLRグラウト材のコンシステンシー試験として、漏斗流化時間の測定を実施している。 ・ MLRグラウト材の圧縮強度試験を実施し、強度管理を行っている。 ・ MLRグラウト材の練り上がり容積重量2.05(kg/l)が確認できる。 ・ MLRグラウト材(MLR粉体セメント、混和液)使用量は、空缶、空缶で使用数量が確認できる。 ・ MLRモールドの打音検査などでグラウト注入材が確実充填されていることが確認できる。 ・ 硫酸の侵入を遮断するため、継目部、端部処理は、特に注意して施工していることが目視で確認できる。 ・ 被覆にしわ、むら、はがれ、われがなく、曲がり、凸凹が無いことが目視で確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																												
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [マンホール・管口 の耐震化工法]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<p>【評価対象項目】 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場での材料の保管が適正に管理されている。 <p>【管口耐震化(マグマロック工法)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴムスリーブの基本物性検査(引張り試験、老化試験、圧縮永久ひずみ率)等が実施されており、規格値を満足していることが確認できる。 ステンレススリーブの基本物性検査(引張り強さ、硬度、引張り破断時の最大伸び)等が実施されており、規格値を満足していることが確認できる。 誘導目地の切削深さ、位置を決めるため、事前に測定している。 誘導目地が管の厚さの一部を残して切り込んでいることが確認できる。 誘導目地へのシール材が隙間なく充填されていることが確認できる。(水中も) シール材の使用量が納品書及び空缶等により確認できる。 ゴムスリーブが確実に設置されていることが写真等で確認できる。 ステンレススリーブ(SUS316)に固定金具を挿入した後、固定用ジャッキで圧入し、更に拡張し、固定していることが確認できる。 マグマロック設置工における油圧ジャッキの圧力基準が管理基準内に入っている。 <p>【マンホール浮上抑制(セフティパイプ工法)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用材料(集水管・止水エントランスゴム・集水管ゴム・逆止弁等)の品質がミルシート、性能試験等で確認できる。 集水管の施工長さが確認され、確実に固定されている。 集水管の方向、角度が設計図書どおりに施工されていることが確認できる。 集水管の位置、数量が設計図書どおり施工されていることが確認できる。 <p>【マンホール浮上抑制(ハットリング)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用材料(浮上抑制ブロック・固定バンド・バックアップ材等)の品質がミルシート、性能試験等で確認できる。 掘削底面部は浮上抑制ブロックの沈下防止を防ぐため十分転圧されていることが確認できる。 固定バンドが所定の位置に取付けられていることが確認できる。 固定バンドの締付確認が実施され、所定のトルク値で締め付けられており、適切に記録が管理されている。 固定バンドの締付器、測定機器のキャリブレーションを実施している。 マンホール本体と浮上防止ブロックの間の隙間を維持するために、パイプ等をマンホールの外側に立て、浮上抑制ブロック浮上抑制ブロックを設置している。 マンホール本体と浮上抑制ブロックとの間に隙間があり、地震時に別々の挙動を示すようになっていることが確認できる。 マンホールの外周部と浮上抑制ブロックの隙間にバックアップ材が隙間なく充填されていることが確認できる。 マンホール浮上抑制ブロックに偏土圧がかからないように均等に埋め戻していることが確認できる。 土砂流出防止ネットが掘削周囲に折り曲げられていることが確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [マンホール・管口 の耐震化工法]	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																
II 品 質		・ 補助ブロックと連結する鋼材とのボルト締付確認が実施され、適切に記録が管理されている。 ・ アスファルト舗装の舗設温度等の品質管理が適切に行われている。																																						
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合にはC評価とする。																																						
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
90%以上	a	a'	b	b																																				
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
60%未満	b'	c	c	c																																				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																						

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形 及び 出来ばえ	水管橋工事 (伸縮可とう 管工事)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品 質		【評価対象項目】 【工場製作関係】 <ul style="list-style-type: none"> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 塗料の品質が出荷証明書、塗料証明書で確認できる。 塗装前の処理が適切に実施されていることが確認できる。 仕様書に定められた制限内の気温、湿度の条件下で塗装を行っていることが確認できる。 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 伸縮可とう管の構造、寸法、水圧試験等が実施され、試験成績表等で確認できる。 放射性透過試験により溶接箇所試験結果報告書が作成され、適正に実施されたことが確認できる。 【架設関係】 <ul style="list-style-type: none"> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 ボルトの品質がミルシート等で確認できる。 鋼材の保管にあたり変形及び塗装面に損傷を与えないように適切に管理されている。 現場架設後、水漏れしていないことが確認できる。 現場塗装で塗り残し、むら等がない。 フランジの据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面が平坦に出来ている。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																																				
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。																																										
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>ばらつきが小さい</td> <td>ばらついている</td> <td>ばらつきが大きい</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																										

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	(下水道) コンクリート 構造物工事 (重力濃縮槽・等)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		【評価対象項目】 【コンクリート構造物】 <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量等)が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、パイプレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 コンクリート打込みに雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 コンクリート打込み前に打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 目地に挟む目地材や止水坂等の設置が適切である。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する) コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号) 非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定を行っている。(平成31年2月15日付技第1035号) ひび割れ発生状況調査を実施している(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲1)) ひび割れ有無の調査を実施し報告している(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2)) 有害なクラックが無い。 水張試験を実施し、水面低下が5mm以下であることを監督員立会いの元確認している。 「新潟県コンクリート品質確保ガイドライン」に基づく取組を採用している。(適用範囲外は項目削除可能、適用範囲外でも採用した場合は○) 【鉄筋】 <ul style="list-style-type: none"> コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 主鉄筋の引張試験を1規格10ロットごとに実施している。 非破壊試験を実施し、配筋状態およびかぶり測定により鉄筋状況を確認している。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	(下水道) コンクリート 構造物工事 (重力濃縮槽・等)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																												
II 品質		【コンクリート防食塗装】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相対湿度が85%以上のときは塗装を実施していないことが確認できる。(塗装前に湿度を測定している。) ・ 塗装するコンクリート面の含水率は高周波水分計で8%以下であることを確認している。 ・ 塗装前のコンクリート表面のレイタンス処理が適切に実施されていることが確認できる。 ・ しわ、ちぢみ、ふくれ、だれ等がないことが確認できる。 ・ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 ・ 塗料の品質が出荷証明書、塗料証明書で確認できる。 																																		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値()% = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">評価値</th> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満
評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物 補修工事 (断面修復工事)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品 質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料は数量をはじめ、安全性が確認できる品質証明書が整理されている。 ・ 設計図書に示された数量が、使用前(充袋・空袋)により写真で確認できる。 <p>【断面修復工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はつり面が平坦に仕上げられ、清掃されていることが確認できる。 ・ 鉄筋を露出させ防錆処理を適切に行っていることが確認できる。 ・ 鉄筋を確実に設置していることが確認できる。 ・ 断面修復材の強度試験等(圧縮強度試験・フロー値・粘着力試験)を実施していることが確認できる。 ・ 断面修復工に先立ち、はつり面を刷毛で湿潤状態としていることが確認できる。 ・ 断面修復材を規定の配合で電動攪拌機で均一になるまで攪拌していることが確認できる。 ・ 1回あたりの施工厚は規定の厚さで施工していることが確認できる。 ・ 規定の鉄筋のかぶりを確保して、断面修復されていることが確認できる。 ・ 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行っていることが確認できる。 <p>【表面処理工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面処理工の塗装する面を洗浄し、乾燥状態としていることが確認できる。 ・ 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が記録されており、適正な気象条件下で塗装していることが確認できる。 ・ 規定の回数で塗布されていることが確認できる。 ・ 塗装に有害な付着物が無いことが確認できる。 ・ 雨水等の影響を受けない場所で保管していることが確認できる。 ・ しみ、ちぢみ、ふくれ、だれ等がないことが確認できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</p> <p>③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																												

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物 補修工事 (炭素繊維補強工事)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																
II 品質		【評価対象項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・施工時の天候、気温等が適正な気象条件で施工されている。 ・材料の規格・品質が試験成績表などで確認できる。 ・施工面に空隙、気泡、しわ等の有害なものが無い。 ・重ね継手長は10cm以上としていることが確認できる。 ・冬季の施工(気温5℃以下)、または湿度85%以上の場合は、温風機等により温度管理又は湿度管理と行い施工している。 ・各層毎に施工中1回以上の付着強度試験を行い、品質を管理している。 ・下地処理でコンクリートの表面の劣化層の研磨、除去、ひびわれ補修などを実施し、平坦性が確保されている。 ・炭素繊維シート接着工終了後、必要に応じてビニールシート等で養生を行っている。 ・塗装の空缶管理が写真で確認できる。 ・材料の保管が屋内等に保管されていることが確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																																
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。																																						
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	コンクリート 構造物工事 (エポキシ樹脂鉄 筋使用 高流動コンクリート)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		【評価対象項目】 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量等)が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、パイプレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 コンクリート打込みに打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 目地に挟む目地材や止水板等の設置が適切である。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する) コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号) 非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定を行っている。(平成31年2月15日付技第1035号) ひび割れ発生状況調査を実施している(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲1)) ひび割れ有無の調査を実施し報告している(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2)) 有害なクラックが無い。 目地に挟む目地材は、露出の表面で均一に出るよう施工されている。 目地材、止水板等はよじれなく直線的に仕上がっている。 機器及び部品等で性能検査をするものは、製造者又は公的機関の証明書が整備されている。 「新潟県コンクリート品質確保ガイドライン」に基づく取組を採用している。(適用範囲外は項目削除可能、適用範囲外でも採用した場合は○) 高流動コンクリートの自己充てん性は、実際の構造物または部材を模擬した、これと同等の構造条件及び施工条件を有する実物大模型等により、照査している。 高流動コンクリートの流動性はスランプフロー試験、材料分離抵抗性は500mmフロー到達時間または漏斗流下時間、自己充てん性は充てん装置を用いた通過性試験等で管理している。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート 構造物工事 (エポキシ樹脂鉄筋使用 高流動コンクリート)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																
II 品 質		<ul style="list-style-type: none"> 高流動コンクリートの打込み速度を、配合、部材形状、配筋状況等に応じて、試験結果や実績に基づいて適切に定めている。 サンドイッチ鋼床版のコンクリートが十分に充てんされているかどうか、コンクリートの打込み及び締め固めに際し空気抜き孔等からのコンクリートのオーバーフロー等により確認できる。 鋼板に囲まれて閉鎖空間となる一つの隔室内には、コンクリートを連続して打込んでいることが確認できる。 【鉄筋】 <ul style="list-style-type: none"> コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 主鉄筋の引張試験を1規格10ロットごとに実施している。 鉄筋の塗膜厚が、220±40μmの範囲で管理していることが確認できる。 曲げ加工の際はキズ防止のため、緩衝材を当て加工していることが確認できる。 鉄筋の付着強度試験、ピンホール試験、耐衝撃性試験、曲げ加工状況をミルシート等で確認できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">評価値</th> <th rowspan="3">90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c		
評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
	a	a'	b	b																																				
	a'	b	b'	b'																																				
	b	b'	c	c																																				
	b'	c	c	c																																				

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	橋梁補修工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【伸縮装置補修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の承認を受けていることが確認できる。 ・製品の品質が「試験成績表」等から確認できる。 ・既設伸縮装置を撤去するにあたり、他の部分に損傷を与えないように施工されている。 ・設置に先立ち、床板遊間量を適正に測定していることが確認できる。 ・施工にあたり、気温等が管理され、適正な条件で施工されている。 ・伸縮装置と舗装面の仕上がりが平坦に施工されている。 ・交通解放にあたり、強度発現の確認が行われている。 ・品質関係の試験結果のばらつきが少なく、良好であることが確認できる。 <p>【落橋防止装置・工場製作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 ・塗装前の処理が適切に実施されていることが確認できる。 ・塗装の品質が出荷証明書、塗装証明書で確認できる。 ・溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 ・放射性透過試験により溶接箇所試験結果報告書が作成され、適正に実施したことが確認できる。 <p>【落橋防止装置・設置工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事着手前に、鉄筋探査器等で既設上下部構造の落橋防止装置取付部付近の配筋状況の確認がされている。 ・アンカーの削孔にあたり、既設鉄筋やコンクリートに損傷を与えないよう注意して行っている。 ・アンカーボルト孔の削孔長を全数確認し、資料が整理されている。 ・施工後にアンカーボルトの定着長を超音波探傷器を用いて全数測定し、資料が整理されている。 ・アンカーボルトの材料搬入時に、長さ、径、材料について全数確認を行っている。 ・ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ・ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 ・ブラケット接合面のケレンが入念に実施されていることが確認できる。 ・落橋防止ケーブルの設置は図面どおりに行われ、支間・遊間等の測定値は規格値を満足している。 ・塗装時の天候・気温及び湿度等の条件が記録・整理され、適切な条件のもとに塗装を行っている。 ・現場塗装で塗り残し、むら等が無い。 ・使用する材料の保管にあたり変形及び塗装面に損傷を与えないように適切に管理されている。 <p>【外ケーブル工法・工場製作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼材の員数照合がミルシート等(現場照合含む)で確認されている。 ・ボルト・ナット・定着金具の品質がミルシート等で確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																						
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁補修工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																						
II 品質		<p>【外ケーブル工法・架設工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 ・ 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が記録されおり、適性な気象条件下で塗装している。 ・ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 ・ 締め付けボルト、桁との間及び隅の所で塗り残しがない。 ・ 設計図書に示された数量が、使用前後で資料により確認できる。 ・ 作業実施前に装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。 ・ ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ・ ケーブルの緊張状況が記録され、適切に管理されている。 ・ 鋼材等の資材の保管にあたり変形及び製品に損傷を与えないように適切に管理されている。 <p>【橋面防水】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防水工において水分測定を行い、測定結果が書類で整備されている。 ・ 舗装端部の防水処理が、適正に施工されている。 ・ 防水シートは、床版が十分に乾燥した後に適切に施工されている。 ・ 既存の舗装材の撤去が確実に行われ、接着材がむら無く塗布されている。 ・ 材料の規格・品質が試験成績表などで確認できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th colspan="2">ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th colspan="2">80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい		50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																									
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																											
	50%以下	80%以下	80%を超える																																											
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																									
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																									
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																									
	60%未満	b'	c	c	c																																									

[記入方法] 該当する項目の○に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形 及び 出来ばえ	鋼管防蝕工事 (ペトロラム ライニング工法) (TP工法)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																
II 品 質		<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用材料が所定の品質を有することが、製造工場の試験成績書(検査証明書)で確認できる。 ・腐食状況を事前に調査し、調査結果を基に監督員と施工範囲を確認していることが書面で確認できる。 ・素地調整で鋼材面の水中生物、浮き錆、浮き塗膜等を除去し、規程のグレード(ISO St2以上)に仕上げていることが確認できる。 ・鋼材面に支障となる突起物がある場合は切断や研磨により除去している。 ・素地調整で生じた除去物は回収し、産業廃棄物として適正に処理していることが確認できる。 ・ペーストテープが規程の重ね代(10%)を確保した上で巻き付けられていることが確認できる。 ・巻き付け後のペーストテープに水泡や気泡が残っていないことが確認できる。 ・防食テープが規程の重ね代(55%)を確保した上で巻き付けられていることが確認できる。 ・巻き付け後の防食テープに水泡や気泡が残っていないことが確認できる。 ・保護カバーは規定通りの幅をに重ね合わせて施工されていることが確認できる。 ・上端部が上部構造物に所定の深さで差し込まれ、間隙部に水中硬化型エポキシ樹脂を十分に充填していることが確認できる。 ・下端部は下端固定金具で固定し、水中硬化型エポキシ樹脂を十分に充填していることが確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																																
		<p>①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。</p>																																						
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																						

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	旧橋撤去工	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																												
II 品質		[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工計画書に作業方法、手順、仮設方法等が記載され実施している。 ・ 施工計画書に周辺環境に配慮した騒音対策、振動対策が記載され実施されている。 ・ 施工計画書に安全対策が記載され実施している。 ・ 撤去数量(鋼材、コンクリート)が確実に処理されていることが書類・写真で確認できる。 ・ 処理量が最終処分地での記録と整合する。 ・ 埋設物撤去状況及び記録が適切である。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																												
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工 (コンクリート及び鋼製部材)	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照)(関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。 					<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<p>【評価対象項目】 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認されている。 潮位が事前に確認され整理されている。 <p>【魚礁製作関係】(コンクリート材)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量等)が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、パイプレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する) コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号) 有害なクラックが無い。 コンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適切であることが確認できる。 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 鉄筋の企画・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 魚礁ブロック等を現場で製作するものは、型枠搬入時に仮組等を実施し、寸法・歪み・傷等をチェックしている。 魚礁ブロックの製作で豆板、かけ、型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。 「新潟県コンクリート品質確保ガイドライン」に基づく取組を採用している。(適用範囲外は項目削除可能、適用範囲外でも採用した場合は○) ひび割れ有無の調査を実施し報告している(土木コンクリート構造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2)) 					<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <p>上記該当あれば……d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 <p>上記該当あれば……e</p>

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工 (コンクリート及び鋼製部材)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																	
II 品質		【魚礁製作関係】(鋼製材) <ul style="list-style-type: none"> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合含む)で確認できる。 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 放射性透過試験により溶接箇所試験結果報告書が作成され、適正に実施されたことが確認できる。 ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 ボルトの品質がミルシート等で確認できる。 【魚礁沈設工】 <ul style="list-style-type: none"> 沈設に先立ちGPS及びD-GPS等の測量機器を利用して位置を測定し、設計図書に定められた場所に沈設し、管理表を作成している。 沈設時の着底速度は、毎秒0.8m以下の速度で着底している。 沈設された魚礁は音響測深器等により高さ・長さ・幅を測定し、出来形図を作成している。 																																							
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。																																							
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																					
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																							

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	砂防工 (鋼製枠・ スリット堰堤)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地山との取り合わせが適切に行われている。 ・施工基面が平滑に仕上げられている。 ・材料の品質規定証明書が整備されている。 <p>【鋼製枠堰堤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼材の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・鋼材に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 ・鋼材に損傷があった場合は、塗装補修を実施していることが確認できる。 ・鋼材の保管管理が適正であることが確認できる。 ・床面部、上層部の仮組を実施し、レベル調整を行ってから本締めを実施していることが確認できる。 ・構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている。 ・堰堤の施工に、ずれ、歪み、はらみ、損傷がないことが確認できる。 ・堰堤工の詰め石の施工が適切で空隙が生じていない。 ・堰堤の中詰め石が仕様書等に定められた大きさと施工されている。 ・堰堤の中詰め石の単位体積重量が設計単位体積重量より大きいことが確認できる。 ・吸出防止材が所定の幅で重ね合わせられていることが、写真記録等により確認できる。 ・吸出防止材の引張強度の試験値を確認できる。 ・土砂漏れ防止材(エキスパンドメタル)の品質証明がミルシート等で確認できる。 <p>【スリット堰堤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品に損傷、キズが無いことが確認できる。 ・鋼製スリットの規格、品質が適正であり証明書が整備されている。 ・鋼製スリットの保管、吊り込み等に十分注意を払い適切に施工されている。 ・スリットが規定の水平高さに取り付けられており、ボルトで十分締め付けられている。 ・コンクリート打設時の必要な供試体が採取され、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 ・施工条件及び気象条件に適した運搬時間・打設投入高さ・締め固め・養生方法など適切に行っている。 ・塗料材料の品質が適正であり、空缶管理が写真等で確認できる。 ・適正な気象条件で施工され、塗り残し等が無いことが確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形及び出来ばえ	砂防工 (鋼製枠・スリット堰堤)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品質		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合にはC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	ポケット式 落石防護網 工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																					
II 品 質		[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> ・材料・製品の品質・規格等がミルシート等により確認できる。 ・金網の設置にあたり法面への固定方法が適切である。 ・金網・ネット等が施工計画書のとおり施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 ・金網が最上段の横ロープへ20cm以上折り返し、結束線と結合コイルで固定していることが確認できる。 ・金網の設置において、隣り合う金網は30cm(20cm以上)重ねて施工されていること確認できる。 ・支柱の建込において、ピンボルトの締め付け確認が実施され、適切に管理されている。 ・ピンボルトの締め付け機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 ・アンカーが確実に固定されていることが確認できる。 ・アンカーの耐力確認として、架設現場において、耐力テストを行い、実際の耐力を確認している。 ・アンカー、支柱、ピンボルト、金網等の保管理が適正である。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																					
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。					上記該当あれば……d	上記該当あれば……e																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい		50%以下	80%以下	80%を超える													
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																									
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																										
	50%以下	80%以下	80%を超える																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	90%以上	a	a'	b		b																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'		b'																							
	60%以上75%未満	b	b'	c		c																							
	60%未満	b'	c	c	c																								
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																													

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形及び出来ばえ	雪崩防止柵工事 (フェンスタフ)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品 質		[評価対象項目] [アンカー工] ・材料(ネット、アンカーロッド、注入材)・製品の品質・規格等がミルシート等により確認できる。 ・グラウトのコンシステンシー試験を実施し、フロー値の範囲が基準値内であることが確認できる。 ・グラウトの圧縮強度試験($\sigma 28 \geq 24\text{N/mm}^2$)を実施し、強度管理を行っている。 ・グラウト注入の状況が孔口上部まで確実に充填されていることがオーバーフローにより確認できる。 ・グラウトの注入量が、セメントの充空袋数量等で確認できる。 ・ワイヤーロープを端部基部プレートにワイヤークリップで定着するにあたり、所定のトルクで締付られていることが確認できる。 ・削孔の方向、削孔長について確認できる記録が整理されている。 ・ネット山側面に金網を上下にラップさせて敷設していることが確認できる。 ・アンカーロッド挿入までの定着具、アンカーロッド等の保管管理が適正である。 ・施工完了後、設計を満足するものであるかどうかを確認するための確認試験を実施している。					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																																				
		上記該当あれば……d					上記該当あれば……e																																					
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。																																										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																										

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	スノーシェツド工事 (二次製品)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【制作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の性能が試験成績表で確認できる。 ・プレストレス時のコンクリート圧縮強度が確認できる。 ・製品に工事名又は記号、コンクリート打込み年月日、通し番号が表示されている。 ・製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認して受け取り、損傷等の無いもので施工している。 <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 ・横梁の緊張及びグラウト材料の配合及び強度の管理が適切に管理されている。 ・柱脚部に防水シール材又は軟質ゴムを充填している。 ・主梁間及びブロック間の目地は、防水シート、弾性シーリング材質等の防水処理を行っている。 ・防水工は、上部が十分に乾燥したことを確認した後に適切に行っている。 <p>【コンクリート構造物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) ・施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) ・型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 ・コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・コンクリート打込み前に打継目処理を適切に行っていることが確認できる。 ・型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 ・高炉セメント使用の場合は、初期強度の管理に細心の配慮がうかがえる。 ・目地に挟む目地材や止水板等の設置が適切である。 ・コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する) ・コンクリートの水セメント比試験を実施し、許容範囲に入っていることが確認できる。 ・ひび割れの発生調査を実施し、調査票を作成し提出している。 ・有害なクラックが無い。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形及び出来ばえ	スノーシェツド工事 (二次製品)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品質		<p>【鉄筋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 ・鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 ・スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 ・鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 ・鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・主鉄筋の引張試験を1規格10ロッドごとに実施している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							

〔記入方法〕 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	地盤改良工事 (スラリー攪拌工)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																												
II 品 質		【評価対象項目】 【スラリー攪拌工】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規定の有効径が確保され、一軸圧縮強度試験により強度管理されている。 ・ 六価クロム溶出に対する確認が実施され、本工事が実施されている。 ・ 記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 ・ 盛上がり土に状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 ・ 打ち込み機の施工に先立ち自動記録装置の性能確認試験がなされている。 ・ 打ち込み記録がチャート等により適正に施工管理されている。 ・ 所定の深度まで混合攪拌したことが、確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																												
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合にはC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	土工事 (改良盛土)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		【評価対象項目】 【混合処理工法】 <ul style="list-style-type: none"> 盛土材の品質、形状が設計図書に基づくことが、試験成績表で確認できる。 土砂と砂の配合比率が1:1であることが確認できる。 締め固めを適切な条件で施工している。(巻きだし厚が均一で均等な転圧) 盛土材の表面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 軟弱地盤での盛り土施工では、沈下量の測定が適正に実施されている。 搬入土砂の数量確認ができる。(樹立て等を実施。) 搬出土砂の数量確認ができる。(搬出先での数量又はダンプの台数等) 盛り土の締め固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 運搬中に水分が浮かんでこないような土の状態であるか、運搬前に確認してから搬出している。 雨天は搬出しない。搬出するときは、シート等で覆い含水比が高ならないように工夫して運搬している事が確認できる。 コーン指数が指定の数値以上であることを確認している。 【ESR工法】 <ul style="list-style-type: none"> 使用材料は、数量をはじめ、安全性が確認できる品質証明書が整理されている。 添加材使用量は、自動計量装置等を使用し、規定分の添加材を添加したことが確認できる。(使用量の確認) 工事着手前に配合試験、一軸圧縮試験等を実施し、それに基づいた施工がなされている。 締め固めを適切な条件で施工している。(巻きだし厚が均一で均等な転圧を行っている) 盛土材の表面が平坦に仕上げられている。(各層ごと) 軟弱地盤での盛土施工では、沈下量の測定が適正に実施されている。 搬入土砂の数量が確認できる。(樹立て等を実施) 搬出土砂の数量が確認できる。(搬出先での数量又はダンプの台数) 盛土の締め固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 雨天は搬出しない。搬出するときは、シート等で覆い含水比が高ならないように工夫して運搬していることが確認できる。 改良土をストックする場合は、降雨等の影響による品質低下を避けるための処置をほどこしている。 コーン指数が指定の数値以上であることを確認している。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	土工事 (改良盛土)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 (関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																															
II 品質		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合にはC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																				
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
90%以上	a	a'	b	b																																			
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
60%未満	b'	c	c	c																																			

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	ダム工事 (重力式コン クリートダ ム)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋の保管管理、組立・加工が適切でことが確認できる。 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 工事で発生する濁水の処理(スラッジ、放流水)が適切に管理されている。 <p>【基礎掘削】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な岩盤線まで確実に掘削されている。 ゆるみや浮き石等を除去し、仕上げ掘削が適切である。 断層等弱層の処理が適切に行われている。(無い場合は省略、グラウチング等特殊基礎処理は基礎処理で評価) <p>【ダムコンクリート】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリート用骨材の品質・規格が仕様書に合致し適切である。 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等が確認できる。 施工条件及び気象条件に適した打込み時間、打込み時の投入高さ、バイブレーターによる締固め管理、雨水やわき水の処理を行っている。 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 施工の打ち継ぎ目処理(越冬ブロックの処理を含む)が適切である。 目地材、止水板等はよじれなく直線的に仕上がっている。 機器及び部品等で性能検査をするものは、製造者又は公的機関の証明書が整備されている。 コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。 コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。 (平成26年8月19日付技第1019号) 「新潟県コンクリート品質確保ガイドライン」に基づく取組を採用している。(適用範囲外は項目削除可能、適用範囲外でも採用した場合は○) ひび割れ有無の調査を実施し報告している(土木コンクリート建造物の品質確保における品質確認調査方法、適用範囲2)) <p>【基礎処理】 (ボーリンググラウチング工)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計量機器、測定機器のキャリブレーションを実施している。。 水押し試験、透水試験、グラウト注入等の圧力管理が適切である。 所定の深度で改良していることが確認出来る。 注入による変位管理が必要な場合は、確実に管理を行っていることが確認出来る。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	ダム工事 (重力式コンクリートダム)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																														
II 品 質		<ul style="list-style-type: none"> 追加基準、完了基準に従い、確実に改良がなされている。 (グラウチングトンネル) 掘削は、地山を緩ませないように、かつ出来る限り滑らかに仕上っている。 ロックボルト設置が適切で丁寧な施工が行われている。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等が確認できる。 巻き立て補強鉄筋は、所定のカブリが確保されている。 湧水やひび割れのないコンクリートの仕上がりが確認できる。 <p>【取水・放流設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 放射性透過試験等により溶接箇所の試験結果報告書が作成され、適正に実施されたことが確認できる。 鋼材の保管や据付にあたり変形及び表面に損傷を与えないように適切に管理されている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形 及び 出来ばえ	トンネル工 (ナトム工法)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																															
II 品 質		[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> 仕様書等で定められている、品質管理が実施されている。 材料の品質規定証明書が整備されている。 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 金網の継ぎ目を一目以上重ねあわせていることが確認できる。 施工に先立ち配合試験を行い、コンクリートの品質向上に取り組んでいる。 吹き付けコンクリートは、浮き石等を除いた後に地山と密着するよう施工されている。 吹き付けコンクリートの打ち継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 吹き付けコンクリートの跳ね返りの少ないのが確認できる。 ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 覆工コンクリートは、打込み時型枠に変圧を与えていないことが確認できる。 コンクリートの打ち継ぎ目処理が、仕様書等の規定に従い実施されている。 コンクリートの供試体が、当該現場のものであることが確認できる。 型枠等の取り外しに関して適切に管理されている。 コンクリート等にクラックがない。 コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号) 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																															
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。																																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																				
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																							

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形 及び 出来ばえ	グラウチング工	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																															
II 品 質		[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力水により孔内のスライムを除去し、洗浄がなされている。 ・ せん孔の位置、せん孔長、方向について確認ができる記録が管理されている。 ・ グラウト注入のセメントミルクの品質、強度及び充填確認が資料等により確認できる。 ・ 製造されたセメントミルクの比重を管理していることが確認できる。 ・ 注入中に注入圧、注入量、注入速度について、管理していることが確認できる。 ・ 注入中のステージが完了するまで、連続して注入していることが確認できる。 ・ グラウチングの効果を確認するため、チェック孔をせん孔し、コア採取、透水試験を実施している。 ・ 隣接の注入孔との位置関係が写真等で確認できる。(間隔、単位あたり個数等) ・ 計量装置は定期的に検査し、その検査結果を監督員に提出していることが確認できる。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。																															
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合にはC評価とする。 </div>					上記該当あれば……d	上記該当あれば……e																															
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評 価 値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																		
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える																																			
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形及び出来ばえ	発砲ウレタン工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品 質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料の品質規格証明書が整備され、特記仕様書の規定する規格・品質を満足している。 ・ 特記仕様書に基づく発砲ウレタンの配合試験または試験練りが行われており、適切な材料の規格(強度・密度・等)が確認できる。 ・ 性能試験をするもので公的機関の証明書が整備されている。 ・ 発砲ウレタンの供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ 発砲ウレタンの充填が充分で空隙が生じていない。 ・ 発砲ウレタンの施工時に供試体を採取し、強度・密度・等が確認できる。 ・ 使用材料の空缶管理で、充缶及び空缶であることが確実に写真等で確認でき、出荷証明書が整理されている。 ・ 特記仕様書で定められた制限内の気温・湿度の条件で作業を行っていることが確認できる。 ・ 湧水・地表水の処理が適切に行われ地山表面の不純物の除去が確実に実施されている。 ・ 注入量は流量計を使用し、規定分の注入剤を注入したことが確認できる。 ・ 注入状況を証明する記録用紙には、監督員の検印されたもので整理されている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙—4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																										
II 品 質		【評価対象項目】 <ul style="list-style-type: none"> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認でき、満足している。 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																										
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合にはC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																														
評価値	90%以上	a	a'	b	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
	60%未満	b'	c	c	c																													

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	維持修繕工事 (側溝修繕) (ネプラス工法)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																															
II 品 質		<p>【評価対象項目】 【ネプラス工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネプラス工法用製品の品質規格証明書が整理され、特記仕様書の規定する規格・品質を満足している。 ・側溝上部の損傷部を切断及び撤去するに際し、既設部に損傷を与えていないことが確認できる。 ・既設側溝に接続ボルト穴の穿孔作業において、側溝にひび割れ等がない事が確認できる。 ・接続ボルト穴に2液混合エポキシ樹脂接着剤を注入した後、ボルトをセットしていることが確認できる。 ・側溝上部補強金具がグラつかず、固定されていることが確認できる。 ・ネプラス用グラウト材の品質がミルシート等で確認できる。 ・間詰コンクリート(ネプラス用グラウト材)が隙間なく充填されていることが確認できる。 ・ネプラス用グラウトの強度試験を実施し、強度を確認している。 ・ネプラス用グラウト材の空袋管理で、充袋及び空袋であることが確実に写真等で確認でき、出荷証明書が整理されている。 <p>【アスファルト舗装】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通解放時の温度管理を適切に行っている。 ・気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締固め等)の配慮が行われている。 ・乳剤が均一に散布され、第三者への飛散防止対策、及び構造物への付着などに細心の注意が払われている。 ・アスファルト舗装工の密度試験を実施しおり、規格値が基準密度以上である。 ・表面排水が良好である。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																															
		<p>①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。</p>																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																				
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
90%以上	a	a'	b	b																																			
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
60%未満	b'	c	c	c																																			

[記入方法] 該当する項目の○に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
II 品 質		[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の品質規定証明書が整備されている。 ・ JIS規格外品について、仕様書の規定する規格、品質を満足している。 ・ 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 ・ 管路材の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 ・ 管路材の現場搬入後、紫外線などによる劣化防止の観点から、管路材をシートなどで防護している。 ・ 土留め、ウエルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。 ・ 二次製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受け取り、損傷のないもので施工されている。 ・ 施工基面は、平滑で、必要に応じてランマ等で転圧している。(据え付け後の不等沈下で波うっていないこと) ・ 埋設管路においては、埋め戻し後に管路が完全に接続されているか否かを通過性能試験及び気密試験により確認している。 ・ 狭隘部での機械による埋め戻し施工が困難な場所では、砂または砂質土を用いて水締めにより締め固めている。 ・ 埋戻しの砂(洗い砂)はシルト分が無く、ゴミ、泥、その他の異物が混入していないことが確認できる。 ・ 管と管の間は突き棒等にて十分突き固めを行っていることが確認できる。 ・ 管路の埋戻しに伴い管路上部に埋設標識シートを敷設していることが確認できる。 ・ 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していること確認できる。 ・ プレキャストボックス(特殊部)周囲及び管路部の保護として、十分水締めを行った砂による埋め戻しを行っていることが確認できる。 ・ 転用土の締め固めが十分に行われていることが確認できる。 ・ 必要な長さを切管して使用する場合は、切管した端面は、内外面とも面取りやすり等を用いて糸面取りを行い、平滑に仕上げている。 ・ 管路部に多孔管を用いる場合は、隣接する各ブロックに目違いが生じないよう、かつ上下左右の接合が平滑になるように施工している。 ・ プレキャストボックス(特殊部)の施工にあたっては、基礎について支持力が均等になるように、かつ不陸を生じないように施工している。 ・ プレキャストボックス(特殊部)の施工にあたっては、隣接する各ブロックに目違いによる段差、蛇行が生じないように施工している。 ・ プレキャストボックス(特殊部)の蓋の設置について、ボックス本体及び歩道面と段差が生じないように施工している。 ・ 舗装の出来あがり左右路盤工が平坦に出来上がっていることが確認できる。 ・ 路盤工が設計図書に基づき、所定の厚さ管理が行われ、かつ品質管理が行われている。 ・ 路盤工が構造物周辺の絞め固め等で振動ローラー等による入念な施工が実施されている。 ・ 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 乳剤が均一に散布され、第三者への飛散防止対策、及び構造物への付着などに細心の注意が払われている。 ・ 舗装工の路肩処理、縁端処理の施工において、細やかな配慮がなされ、丁寧に施工されている。 ・ 仮復旧の路面は、ひび割れ、段差等通行の妨げとなるような施工不良が発生せぬよう平滑に仕上げられている。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示をを行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																														
II 品質		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい 50%以下</th> <th>ばらついている 80%以下</th> <th>ばらつきが大きい 80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている 80%以下	ばらつきが大きい 80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

[記入方法] 該当する項目の・に○マークを記入する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運表

(検査職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
3. 出来形及び出来ばえ	ゴムチップ舗装工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。(判断基準参照) (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	・品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																				
II 品質		【評価対象項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・材料の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 ・舗装・路盤工の締め固めを適切な条件で施工している。 ・舗装工の出来上がりを左右する路盤工が平坦に出来上がっていることが確認できる。 ・設計図書に基づく混合物は、配合報告者により適切な配合規格が確認できる。 ・ゴムチップ・ウレタンバインダーの空袋管理が写真等で確実に確認できる。 ・材料のゴムチップの保管が水に濡れないように管理されている。 ・材料(ゴムチップとウレタンバインダー)の混合が3分以上入念に行われ、良くなじんでいることが確認できる。 ・プライマが均一に散布され、第三者への飛散防止対策、及び構造物への付着などに細心の注意が払われている。 ・ゴミ、ドロ等の汚れは、清掃・水洗いをし、乾燥させ、ローラー刷毛で均一にプライマを塗布していることが確認できる。 ・ゴムチップ舗装は降雨の場合、施工していない。 ・ゴムチップ舗装の敷き均しは、人力でレーキを使用し、厚みを確認しながら平坦に仕上げている ・ゴムチップ舗装の敷き均し完了後、直ちに熱ローラで転圧し、その後アイロン又はコテにより仕上げている。 ・ゴムチップ舗装が完了したら、24時間以上の養生を行っており、養生の間は上に乗らないようにしている。 ・ゴムチップ舗装が完了した後は、硬化を待つ間もゴムチップ舗装が雨に濡れないようにブルーシート等で養生している。 ・設計図書に基づき、所定の厚さ管理(コア採取は行わず、水系からの下がり管理、あるいは直接厚さを測定)が行われ、かつ品質管理が行われている。 ・排水勾配が適正に守られ、水溜りが生じていない。 ・ゴムチップ舗装の浸透水量(300ml/15sec以上)、すべり抵抗(BPN40以上)を実施している。 					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば……d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補(手直し)指示を行った。 上記該当あれば……e																																				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はC評価とする。 </div>																																										
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>ばらつきが小さい</th> <th>ばらついている</th> <th>ばらつきが大きい</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
		ばらつきが小さい	ばらついている	ばらつきが大きい																																								
		50%以下	80%以下	80%を超える																																								
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
	60%未満	b'	c	c	c																																							
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																										